

TOPIC

佐川急便は多様な受け取り方が選べます！

佐川急便は、荷受人さまのライフスタイルの変化に合わせてお荷物の多様な受け取り方が選べるように、さまざまなサービス※1を提供しています。

「物流2024年問題」が社会課題として注目されるなか、当社はこうしたサービスの推進を通じ、再配達回数の抑止と、安定した輸送の維持ができるよう努めています。今回は、お荷物の多様な受け取り方についてご紹介いたします。

※1…荷受人さまが1回で受け取れるように、事前にお荷物のお届け日時をお知らせするサービスと、再配達時にもスムーズにお受け取りいただけるサービスがございます。



1回で受け取れるように事前にお荷物のお届け日時をお知らせするサービス

スマートクラブ



Web・メールを活用

会員登録することで、お荷物のお届け日時をメールで事前にお知らせします。また、配達日や受取場所の変更も可能です。

会員数（2024年3月末時点）
約1,615万7,000人（累計）

LINEサービス



お荷物のお届け日時をLINEで事前にお知らせします。当社公式アカウントから、配達日の変更や、再配達の依頼が可能です。

会員数（2024年3月末時点）
約2,374万3,000人（累計）

配達時のスムーズなお受け取りをサポートするサービス

コンビニ受取サービス

コンビニ受取サービスを導入している通販サイトで商品を購入される際に、受取場所を「コンビニ」とご指定いただくと、24時間いつでも・ご希望のコンビニ※2で受取可能になります。

※2 一部のローソンやミニストップに限られます。営業時間が短い店舗がございます。

指定場所配送サービス

個別契約を結んでいただいた荷送人さまから出荷されるお荷物が対象で、荷受人さまが指定する玄関先や車庫内などの場所にお荷物をお届けします。

不在受取先変更

一度ご不在で受け取れなかったお荷物に関して、お届け先を当社が指定する受取場所（営業所および、サービスセンター、宅配ロッカー、店頭受取店舗）に変更して、お荷物を受け取りいただけます。

【受取場所の一例】



ファミロッカー



郵便局



自宅宅配ロッカー

※具体的なサービス内容については、各種サービスのホームページなどをご参照ください。

佐川急便は、社会課題とされる「物流2024年問題」に対応するため、ドライバーの労働環境改善に取り組んでいます。また、トラックの稼働時間を減らすことで、CO₂の排出抑制につながるため、環境に配慮した輸送ができます。ここでは、3つの代表的な運び方についてご紹介いたします。

①フェリーを活用

関東⇄九州間の長距離輸送においてフェリー利用を拡大しています。この輸送では荷台を切り離せるセミトレーラーを使用し、荷台のみをフェリーに乗船させることでドライバーの乗船が不要となり、拘束時間が短縮されてドライバーの業務負担の低減につながります。

ドライバー運転時間 143.701時間削減（86%削減）
※2022年4月～2023年3月



②スワップボディコンテナ車両を活用

荷台の脱着が可能なスワップボディ車両を用いて荷役分離による拘束時間短縮や、長距離便の中間地点でのスイッチ運行を進めています。今後も年間で車両25台、コンテナ50台の導入を検討しています。

	車両	コンテナ
佐川急便	130台	400台
パートナー企業さま	80台	—

2024年3月時点



③スーパーレールカーゴを活用

2004年より、日本貨物鉄道株式会社と共同開発した世界初の電車型特急コンテナ列車「スーパーレールカーゴ」を活用しています。東京～大阪間で上下各1便運行しており、環境負荷低減やドライバーの運転時間削減に大きな効果を発揮しています。

積載量
上下各1便で10トントラック計56台分に相当する貨物量



物流2024年問題に関する特設サイトがオープンしました！

「NEVER STOPS LOGISTICS」と題した特設サイトをオープンしました。社会課題とされる「物流2024年問題」においてドライバーの労働環境改善が求められるなか、当社の取り組みを適宜発信しています。<https://www.sagawa-exp.co.jp/column/>



発行元：佐川急便株式会社 経営企画部 広報課 Mail：pr@sagawa-exp.co.jp